



叙勲受章おめでとうございます！

平成26年春の叙勲が発表され、本町下原集落の倉ヶ崎敏治さんが『第22回危険業務従事者叙勲』において、瑞宝単光章（防衛功労）を受賞されました。

危険業務従事者叙勲とは、自衛官、警察官、消防吏員など危険性の高い業務に従事した55歳以上の元公務員を対象に叙勲する日本の栄典制度です。

倉ヶ崎さんは、昭和46年に陸上自衛隊へ入隊し、沖縄県、北海道、都城駐屯地などに勤務され、特科（高射）部隊を中心に、36年間にわたり、新人や中堅の育成に尽力され、平成19年に退官されました。倉ヶ崎さんは、「両親や兄弟、妻たちの支えに感謝しています。」と話されました。



▲春の叙勲を受賞された倉ヶ崎敏治さん



校歌でお礼！大崎中学校にグランドピアノ寄贈

7月4日（金）、大崎中学校において、グランドピアノを寄贈してくださった、岐阜県各務原市在住の阿部重治さん（穂園集落出身 昭和37年卒業）に対し、生徒会・PTA・学校から感謝状が贈られました。

これは、今年4月に町内3中学校が統合したことに際し、『中学校に何か役に立つものを』との思いから、中学校などと相談し、グランドピアノが寄贈されたものです。

生徒たちは感謝の気持ちを込めて、グランドピアノの伴奏とともに校歌を斉唱し、阿部さんは、「皆さんの校歌を聞きとても感動しました。末永く使ってください。」と話されました。



▲阿部重治さんに感謝状が贈られました。



役場の仕事を体験！串良商業高等学校生

7月1日（火）から4日（金）までの4日間、県立串良商業高等学校の4名の生徒が役場において、職場体験学習を行いました。

4名は、日程説明を受けた後、早速書類の整理や仕分け、ゴミ分別、税についての体験・学習を行いました。

生徒らは4日間の体験を終え、「わからなかったことを役場の方に聞いたことは良かった点だったけど、あいさつがあまりできなかったことが悪い点でした。」「職場体験を通して、みんなで協力していくことの大切さを学びました。」と感想を述べました。今回の経験が生徒たちにとって、今後の進路選択の糧になるように願っています。



▲職場体験学習を終え、感想を述べる生徒ら